

第8回 Science Lectureship Award 国際学術講演賞 報告

平成25年12月12日(木)、教育学部大講義室にて第8回 Science Lectureship Award 国際学術講演賞が数学・情報数理学科の企画、理学部後援会支援で開催されました。

今回の受賞者、ハワイ大学の Monique Chyba 教授は微分幾何学や制御工学の専門家で、その応用として海洋・宇宙探査の研究をされています。また、SUPER-M と呼ばれる、数学科の学生達との離島数学教育プロジェクトを進めています。

授賞式に先立ち講演会が行われ、岡田教授より開式の挨拶、齋藤学長よりご祝辞を頂きました。講演のタイトルは「A Journey in Space and Underwater」。講演の前半は Chyba 先生自身の研究成果についてお話いただきました。微分幾何と呼ばれる数学を、人工衛星、水中探査、MRI といった幅広いテーマに応用する研究です。後半は、Chyba 先生が立ち上げられた、学生による教育プロジェクトのお話でした。ハワイ大学の数学科の学生たちが、離島の子供たちに数学を教える活動を紹介いただきました。動画や音楽を交えた、専門家でなくても楽しめる講演でした。

続いて行われた表彰式では、石村教授より祝辞と賞状、博士前期課程小尾氏から花束、チーバくんから房州うちわの贈呈がありました。房州うちわは、日本三大うちわとして知られる千葉県の伝統工芸品です。伝統工芸士にお願いし、千葉大学のロゴの入ったオリジナル房州うちわを制作頂きました。その後、コルザで行われた交流会では、多くの学生達と教授が言葉を交わし、研究、留学・在外活動といった話題が広がりました。

S L Aの企画と運営を、中心となって進めたのは学生達でした。学生たちが、熱意をもって活動した成果が実り、素晴らしい式典になりました。帰国のために成田空港へ向かう途中、感動された Chyba 先生が「I'm missing students.」と呟かれていました。また、学生達自身は、企画や運営を通じ、海外での活動に対して今まで以上に強い興味を抱いたようです。

また、今回の受賞はハワイ大学のプレスリリースやラジオ放送でも取り上げられました。今後、千葉大学理学研究科とハワイ大学との連携に繋がると期待されています。

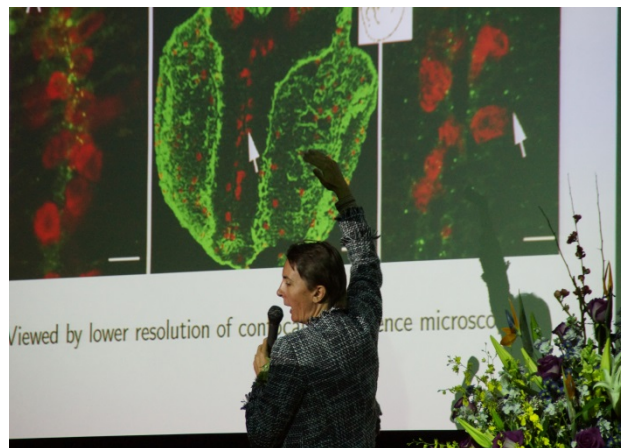
最後になりましたが、今回の S L Aを創り上げていった事務職員の方々、また、資金援助を頂いた理学部後援会に深謝致します。



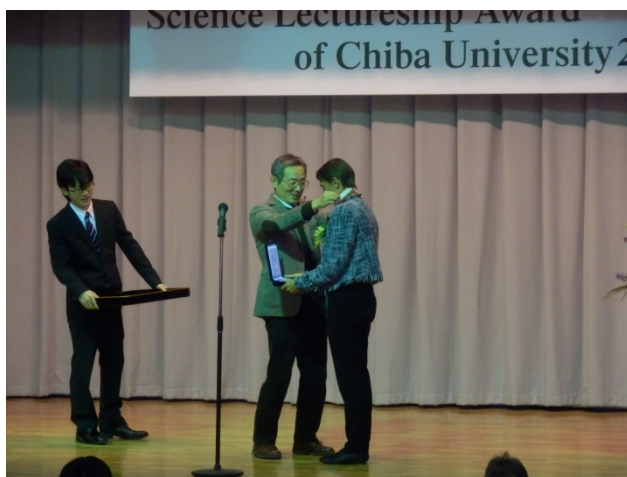
ご祝辞を述べられる齋藤学長



Chyba教授の紹介をする
岡田教授



講演中のChyba教授



石村教授から賞状とメダルを贈呈



千葉県のマスコット チーバ君も登場



Chyba教授を囲んで



左から、大橋学部長、Chyba先生、
今回統括をして下さった萩原准教授



ポスター作りや周知活動、準備、司会、進行に至るまで
若い感性を存分に発揮し、企画・運営を行った学生達